

# 王子マテリア工場敷地の利活用構想について



王子マテリア㈱からの提供 2013年撮影

残すところあと1カ月で王子マテリア㈱名寄工場での製品生産が終了します。

市は、王子マテリア㈱が所有する施設や工場敷地を地域において有効活用できないかと同社と協議をしている中、エネルギー関連事業を手掛けるJAG国際エナジー株式会社から次の新事業に関する提案をいただきました。



注力



地域新電力会社の設立

## 提案事業① 地域電力会社の設立

### なんで地域電力会社なの？

市内では既に太陽光発電など再生可能エネルギーによる発電が行われ、電力会社へ売電されています。その電力を「再生可能エネルギー電気特定卸供給」を利用し、希望される方々に電力を供給していきます。その結果、電気代などが地域内に循環し、市内経済の活性化が見込まれます。また、下段に記載する木質バイオマス発電事業が実施決定となれば、その発電される電力も合わせて事業を行っていく予定です。

## 市の見解

新規法人設立やエネルギーを地産地消すること、電気代などが市内で循環していくことはメリットがあると考えており、地域へどのような貢献をしていただけるのかなども踏まえ、地域の参画や必要な支援など検討してまいります。

## 提案事業② 木質バイオマス発電事業

### 木質バイオマス発電ってなに？

人工林を管理する際、木が密集し過ぎないように伐採することが必要です。そのときに出てしまう廃材を有効的に活用し、燃やして発電させる方法となります。発電時に二酸化炭素を排出しますが、木が成長する過程で二酸化炭素を吸収したものであるため、大気中の二酸化炭素の量は変化しないという「カーボンニュートラル」に当てはまり、地球環境にやさしい発電方法とされています。



木質バイオマス発電事業

## 市の見解

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震を教訓に、地域資源を生かした木質バイオマス発電による電力をこの地域で調達・確保できることで、エネルギーコストの流出を防ぎ、地域課題の解決に生かせることを期待しています。また、王子マテリア工場敷地利活用の3本柱の1つである「再生可能エネルギー事業」に合致するものであり、エネルギー施策の推進につながればと考えております。廃熱を活用した事業など横展開の可能性も考慮した検討を行ってまいります。